

令和7年度版

三陸北部森林管理署の 概 要



(北山崎)

三 陸 北 部 森 林 管 理 署

〒027-0022 岩手県宮古市磯鶏石崎 4-6

TEL 0193-62-6448 (IP) 050-3160-5900

メール t_sanrikuhokubu@maff.go.jp

ホームページ <https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/sanrikuhokubu/>

国有林の現況

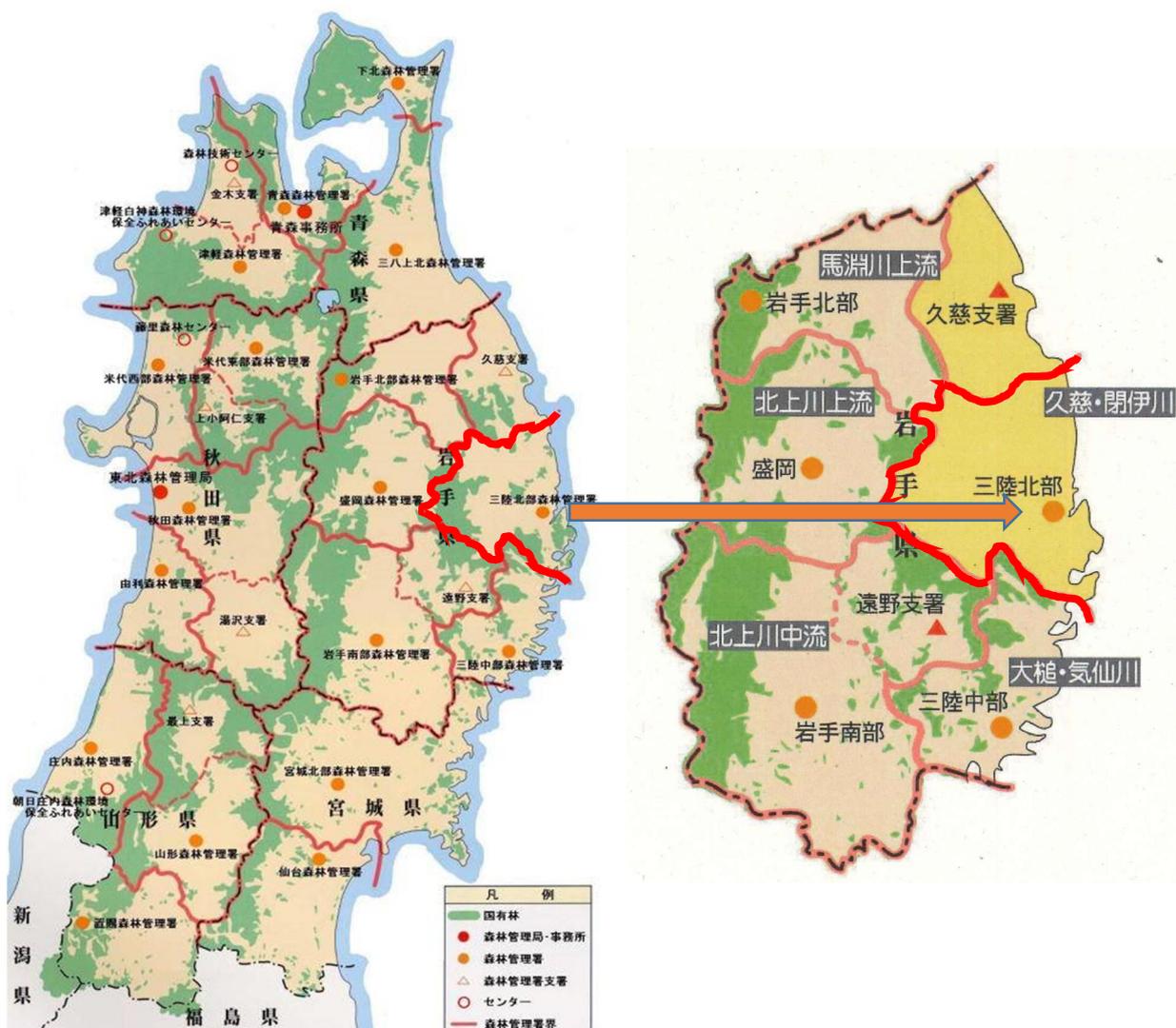
三陸北部森林管理署は、岩手県の北東部に位置し、南は大槌・気仙川森林計画区から北の1市2町1村（久慈・閉伊川森林計画内の宮古市、山田町、田野畑村、岩泉町の一部）の国有林野66,780.65haを管理経営しています。

主な山岳は、日本百名山の一つであり北上高地の最高峰である早池峰山(1,917m)等があります。主な河川としては、閉伊川、津軽石川、田老川、小本川等が東流し太平洋へ注いでいます。

林況は、林地面積の約54%がブナ、ナラ類、アカマツ等の天然林で、残り40%がカラマツ等の人工林となっています。

管内の主な特徴として、北山崎の太平洋沿岸は変化に富んだ壮大な景観を有する「三陸復興国立公園」、内陸部においては登山や渓谷等の散策、キャンプ等で四季を通じて利用されている「早池峰国立公園」等があります。また、早池峰山周辺を「森林生態系保護地域」に設定し原生的な天然林を保護しているほか、この早池峰山周辺森林生態系保護地域を核として北上高地の分水嶺沿いを「緑の回廊」に設定し、動植物の種の遺伝的な多様性の確保にも努めています。

このように、管内一帯は豊かな森林景観に恵まれ、森林レクリエーション・保健休養の場として、四季を通じて多くの人々に利用されています。



東北森林管理局管内図

令和7年度の管理経営の概要

平成25年度から国有林野を重視すべき機能に応じ、従来の3機能5区分から5タイプの区分に見直し、公益林として管理経営します。当署管内の国有林は4タイプあり、それぞれの森林に期待される機能にふさわしい管理経営を推進します。

国有林の森林機能区分面積

機能類型区分	機能類型区分の考え方	管理経営の考え方	対象林分	イメージ
山地災害防止タイプ 面積:13,623ha (20%)	山地災害防止及び土壌保全機能の発揮を第一とすべき森林	根や表層の保全、下層植生の発達した森林の維持	土砂流出防備保安林、土砂崩壊防備保安林	
自然維持タイプ 面積:12,738ha (19%)	原生的な森林生態系や希少な生物の生育・生息する森林などの属地的な生物多様性保全機能の発揮を第一とすべき森林	良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の生育・生息に適した森林の維持	保護林等	
森林空間利用タイプ 面積:650ha (1%)	保健、レクリエーション、文化機能の発揮を第一とすべき森林	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林の維持・造成	レクリエーションの森等	
水源涵養タイプ 面積:39,770ha (60%)	水源の涵養の機能の発揮を第一とすべき森林	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への導入等を推進し、森林資源の有効活用にも配慮	水源かん養保安林等	
快適環境形成タイプ	快適な環境の形成の機能の発揮を第一とすべき森林	汚染物質の高い吸着力、抵抗性がある樹種から構成される森林の維持	都市近郊林、海岸林等	東北森林管理局管内には該当する森林はありません

管内の保護林等

保護林区分	目的	箇所	面積 (ha)
森林生態系保護地域	自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存などを目的に設定	1	4,120.08
希少個体群保護林	林業樹種と希少樹種の林木遺伝資源の保存を目的に設定	6	99.10
緑の回廊	動植物の個体群の交流を促進して、種の保全や遺伝的な多様性を確保するため、保護林を連結してネットワークを形成する「緑の回廊」として設定	1	11,974.86

森林整備及び木材の安定供給の推進

森林育成事業

造林については、公益的機能発揮の必要な森林かつ木材等生産機能の発揮が期待され、育成単層林として維持する森林等において行い、現地の状況に最も適した樹種を選定して実施します。

また、自然的条件、社会的な条件などを勘案し、特に効率的な施業が可能な森林の区域の最適化や拡大を図り、持続可能な林業経営を積極的に推進していきます。

令和7年度 森林育成事業 (単位：ha)

区 分	R7 予定	R6 予定	前年比	備考
地 拵	8	43	19%	
植 付	8	43	19%	R6 改植含む
苗木防除	0	1	0%	
下 刈	93	57	163%	
除 伐	31	53	58%	
除 伐 II	3	0	-%	
計	143	197	73%	



カラマツ コンテナ苗を植栽 (樹種転換)

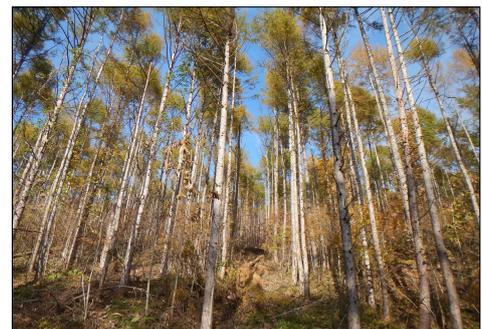
森林整備事業

森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、間伐などの適切な森林施業の実施により健全な森林資源の維持造成を推進します。

また、間伐材などの森林整備によって得られる木材については、大口の需要先に向けて安定的に木材を供給するシステム販売を行うなど、計画的・安定的に供給することを通じ、地域産業の振興に貢献しています。

令和7年度 収穫量及び販売量 (単位：m3)

区 分		R7 予定	R6 予定	前年比	
収 穫 量	立木 販売	主 伐	26,954	3,939	684%
		間 伐	0	0	0%
	製品 資材	主 伐	506	25,565	2%
		間 伐	41,765	76,785	54%
	その他	主 伐	5,000	5,000	100%
		間 伐	39,376	38,388	103%
		計	32,460	34,504	94%
計	間 伐	81,141	115,173	70%	
	計	113,601	149,677	76%	
	官行造林	0	0	0%	
販売量	立 木	11,073	879	1,260%	
	製 品	30,000	46,000	65%	
	計	41,073	49,939	82%	



列状間伐実施状況 (カラマツ林)



帯状複層伐実施状況



木材の安定供給



簡易架線を使った森林整備事業

安全・安心な暮らしの実現

治山事業

治山事業は、水源の涵養、山地災害の防止等のため必要な森林を保安林に指定して、森林の維持造成を通じて森林の働きを高める事業です。

台風や大雨など自然災害などで被害のあった箇所や、その恐れのある箇所の森林に土木工事や緑化工事を計画的に行い、山地災害から人々の生命・財産を守るとともに、水源涵養などの公益的機能の発揮に貢献します。

管内の保安林面積 (単位：ha)

種類	面積
水源涵養保安林	43,481
土砂流出防備保安林	8,731
土砂崩壊防備保安林	1,055
干害防備保安林	355
なだれ防止保安林	71
魚つき保安林	(2) 560
保健保安林	(1,642) 1,762
計	(1,643) 56,012

注：()は兼種保安林で内書きです。計は四捨五入のため一致しない。

令和7年度 治山事業の実施 (単位：箇所)

工種等	数量
溪間工	2
山腹工	
防潮工	
実施設計他	1
計	3



白浜地区鋼製棒谷止工



長内沢コンクリート谷止工

保護事業・ニホンジカ対策

ナラ枯れ被害については、岩手県や管内自治体と連携を図りながら、内陸部の被害先端地域での巡視強化や効果的な駆除の実施に取り組めます。

また、ニホンジカによる農林業被害が大きな問題となっており、関係機関と連携して、平成30年度から管内の早池峰国定公園内の国有林において植生保護柵（防鹿柵）を設置する活動を行っています。

さらに、委託事業として国有林内におけるニホンジカ捕獲事業を実施するほか、管内自治体と締結した協定に基づき、狩猟期の林道除雪支援やくりワナの貸し出しを行うなど、地域と連携しながらニホンジカ被害防止対策に取り組んでいます。

令和7年度保護事業等

区分	R7 予定	R6 予定	前年比
ナラ枯れ被害木処理	119m ³	112m ³	106%
ニホンジカ捕獲支援	2km	1km	200%



ナラ枯れ被害木処理 (くん蒸処理)



植生保護柵設置作業

路網の整備

森林の適切な整備や保全、林産物の供給等を効率的に行うため、投資効率や景観等にも十分配慮しながら、林道及び森林作業道を適切に組み合わせた路網整備をします。なお、工事の施工に当たっては、現地で発生した土石、木材を活用し低コストに努めます。

令和7年度 林道事業の実施 (単位：本、m)

区 分	路線数	延 長
林道新設 (林業専用道)	0	0
災 害 復 旧	1	30
改 良	1	1,653
調 査 設 計	0	0
計	2	1,683



石浜林道改良工事

森林環境教育の推進

森林づくりに参加したいという地域の皆さんの要請に応えるため、森林ボランティア（全角に修正）活動のフィールドの積極的提供や、小・中学校の児童・生徒の皆さんに森林・林業についての理解を深めてもらうことを目的に、森林内での作業体験や自然観察などの場も提供しています。



遊々の森 (木の博物館：古代の森)



ICT林業の体験 (OWL)

林業事業体育成

国有林のフィールドを活用して、素材の採材等について、各林業事業体等の検討会を実施しています。

また、労働基準監督署や林業・木材製造業労働災害防止協会と連携し、安全指導等を行うことで安全意識の高揚を図っています。

実施にあたっては、県・市町村にも参加を呼びかけ、国有林が有する技術等の普及に取り組みます。



採材現地検討会の状況

検討会名等	内 容	場 所	参加者	備 考
採材現地 検討会	素材の採材 方法に関する 指導	管内国有 林	林業事業体、 立木買受者、 地方自治体 職員等	針葉・ 広葉樹 の採材
労働災害 防止協議会	伐倒造材作 業確認、安 全指導等	管内国有 林ほか	林業事業体、 立木買受者等	



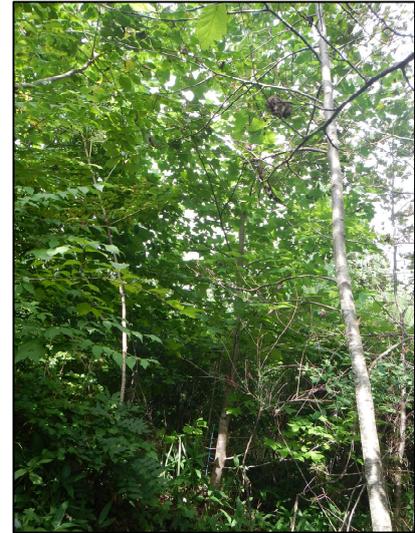
労働災害防止協議会

技術開発

国有林野内に技術開発のための試験地を設定し、早生樹の植栽試験を実施しています。

スギ・カラマツは伐期を迎えるまで長期間を要するため、伐採時の木材価格に対して、伐採後の造林コスト全体経費の縮減のため伐期の短期化等を実施する必要があります。そのため短伐期施業で成長が早く、内装材・家具材等の需要が見込まれる早生広葉樹のユリノキ、ヤマハンノキ、イチヨウを平成 28 年度に植栽し、伐期 30 年程度でフローリングやツキ板への使用を目指して取り組んでいます。

試験地名等	内容	場所	備考
早生樹植栽試験地	平成 28 年度にユリノキ、イチヨウ、ハンノキを植栽し、令和 9 年度まで早生樹の成長調査を実施する予定です。	田野畑村 田野畑国有林 570 林班 か 1 小班	



早生樹の生育状況

森林・林業基本計画に基づく「グリーン成長」の実現に向けて

三陸北部森林管理署では、森林・林業・木材産業による「グリーン成長」の実現に向けて以下のとおり取り組んでいきます。

1. 適切な森林整備の推進と木材の安定供給

主伐、間伐等の森林整備を計画的に進め、地球温暖化防止に貢献するとともに、木質バイオマス発電向け原料材を含め、地域が必要とする木材の安定的な供給に努め、地域産業の振興にも貢献します。



安定的な木材供給

2. 低コストの森林づくりの普及

一貫作業システムの推進、コンテナ苗の活用、低密度植栽等による低コスト造林技術を活用した効率的な森林施業の推進を図り、地域林業の「成長産業化」に向けて取り組みます。



低密度植栽試験地

3. 「新たな林業」の実現に向けて

地域のニーズを踏まえた新たな林業技術の現地検討会を開催し、林業事業者の育成を図るとともに、地域林業への普及・定着に繋げていきます。



簡易架線集材材現地検討会

沿革（三陸北部森林管理署のあゆみ）

- 明治21年 岩手大林区署宮古派出所として開庁（現在の宮古市（旧新里村、旧田老町、旧川井村）、山田町を管轄）
- 明治28年 宮古小林区署と改称
- 大正13年 宮古営林署と改称（旧岩泉小林区署を分離し岩泉営林署を新設）
- 昭和7年 川井営林署を分離新設
- 昭和39年 庁舎新築
- 平成10年 川井営林署と統合し川井森林管理センターに改組
- 平成11年 組織の再編により三陸北部森林管理署となる。久慈・岩泉営林署を統合し、久慈支署、岩泉事務所に改組（久慈・閉伊川流域の国有林を管理経営）
- 平成13年 岩泉事務所を廃止し統合
- 平成16年 川井森林管理センターを廃止し統合
- 平成23年 東日本大震災の津波により森林管理署庁舎及び宮古・山田森林事務所並び公務員宿舎が全壊宮古市川井に本署仮庁舎を設置
- 平成26年 宮古市磯鶏石崎に新庁舎完成現在に至る

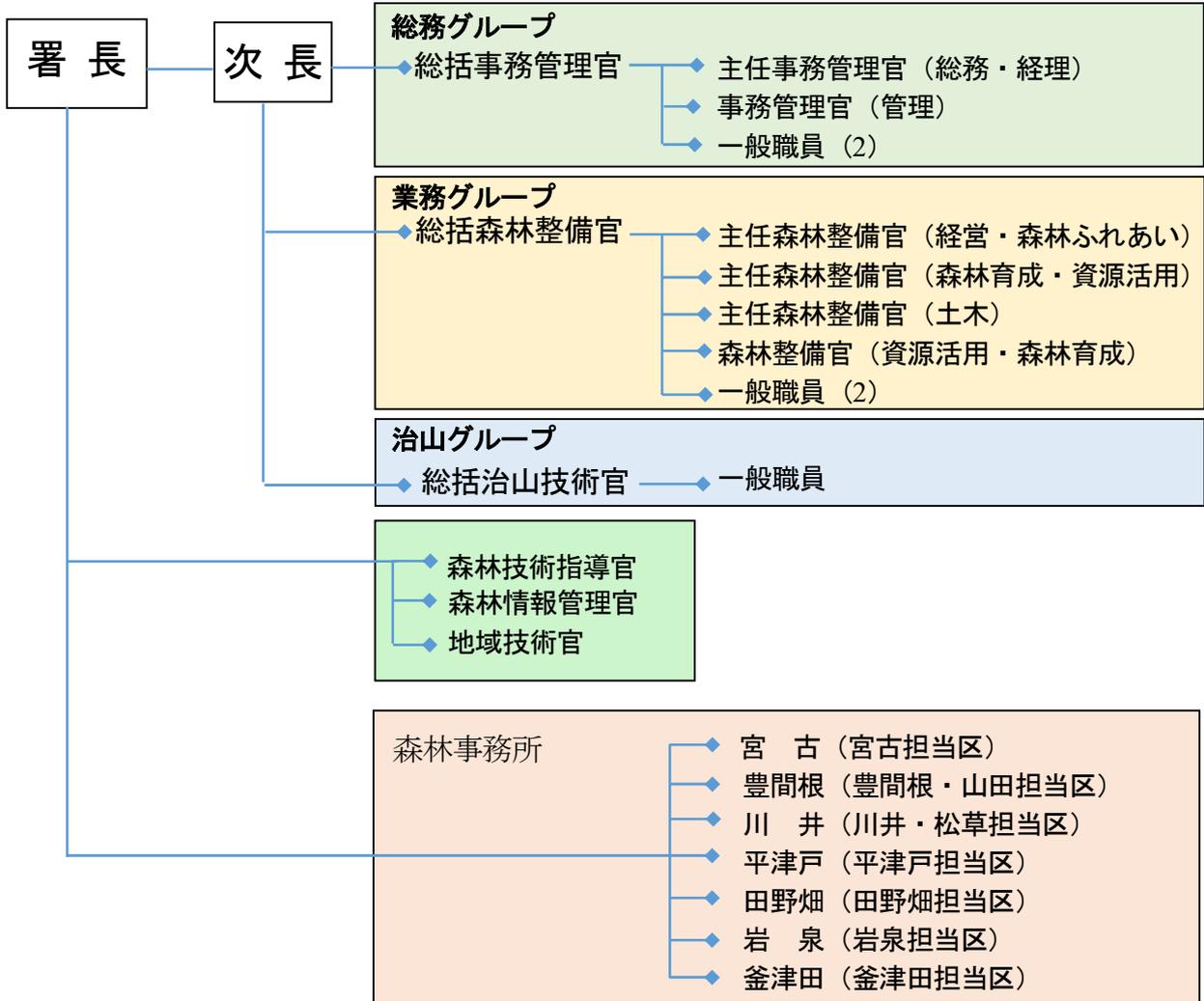
お問い合わせ・緑の相談窓口

署・森林事務所	郵便番号	住所	電話番号
本 署	027-0022	宮古市磯鶏石崎4-6	0193-62-6448
宮古森林事務所	027-0022	宮古市磯鶏石崎4-6	0193-62-2445
<small>とよまね</small> 豊間根森林事務所	028-1302	下閉伊郡山田町豊間根3-160-2	0193-86-2410
川井森林事務所	028-2302	宮古市川井5-116-3	0193-76-2011
<small>ひらつと</small> 平津戸森林事務所	028-2302	宮古市川井5-116-3	0193-76-2213
田野畑森林事務所	028-8407	下閉伊郡田野畑村菅窪205-4	0194-34-2054
岩泉森林事務所	027-0501	下閉伊郡岩泉町岩泉字三本松8-2	0194-22-2723
<small>かまつた</small> 釜津田森林事務所	027-0501	下閉伊郡岩泉町岩泉字三本松8-2	0194-22-2735

※三陸北部森林管理署は宮古市・山田町・田野畑村・岩泉町の一部を管轄しています。

組織図

※令和7年4月1日現在職員数 24名（支署は含まない）



案内図

